

＜第2回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和6年5月24日（金） 19:00～20:30
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 16名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、川合主査、倉地主事
オブザーバー 太田市議

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

（1）第1回若林地域会議会議録について

高岡支所より報告

- ・口座振込依頼書の提出依頼
- ・豊田市第9次総合計画の中間報告会について情報提供

（2）高岡春のファン祭り実施報告

高岡支所より開催報告

（3）提言及びその回答について

- ・令和4・5年度地域会議まとめ
- ・提言書
- ・提言に対する回答 について高岡支所より説明

〈委 員〉組単位の防災訓練はいつやるのか。

〈委 員〉若林自治区では6月15日に西町の防災訓練を実施する。機会があれば見に来てもらっても良い。

〈委 員〉若林独自の防災カレンダーについて、過去のを参考に内容を見直せば意味のあるものが作れると思う。過去に作ったものを通してこういった効果があったか教えてほしい。

〈委 員〉カレンダーだと各家庭であるものがあるので、ごみ収集のチラシのような形で作ればよいのではないかな。

〈委 員〉単年度で作成すると効果が薄いので、3年連続で作成する等やれば地域の防災力向上につながるのではないかな。内容については、市の持つデータに基づいて若林独自のものを織り交ぜていく形になるかなと思う。

〈委 員〉カレンダーにどれくらい費用がかかっているのか。若林4地域に配ると結構な金額になると思うので、しっかりと効果を分析してから作成していくべきではないかな。

〈委 員〉全戸配布については、効果を得る以上に周知徹底を前提としている。自助努力と言われても何をすべきかわからない人にとって、今月はこれをしようというカレンダーであれば意味があると思う。

〈委員〉防災士の資格取得費用補助について、防災士を取ることにによるメリットが見えると、より受けようと思う人が出てくるのではないかと。また、防災ラジオの取得費用補助について、防災ラジオが無償でもらえるのか、いくらか減額があるのか、教えてほしい。

〈委員〉防災士は国家資格ではないので、就職に有利になるとかそういったものではない。しかし、資格を持っている人と持っていない人では知識に差があると思うので、資格を持っている人に有事の際リーダーシップを発揮してもらう必要があると考える。

防災ラジオは本来 19,800 円する。それを 3,000 円で購入できるようになっている。また、自治区民の保有割合が 30%を超えていけば、自治区情報が流せる（なんでも良いわけではない）ようになった。

〈委員〉防災士の資格のメリットについては、取得者に対するセレモニーを開催して区だより等で周知すれば取りたい人も増えるのではないかと。

防災ラジオでラフィートが聞くことができない。災害時に地域とつながりの深いラジオを聞くことができないのは問題ではないかと。

〈委員〉防災ラジオは短波であり、電波がどれだけ悪くても情報が入るのがメリットとしてある。災害情報は自然と流れてくるので、地域のラジオから情報を得る必要はない。

（４）令和６年度地域課題解決事業

- ・事業計画書

- ・スケジュール について高岡支所より説明

〈委員〉みどり線は何年くらい維持できるのか。消えてしまったらその都度引き直さないと意味が薄れてしまうのではないかと。

〈事務局〉引いてくれと言ってすぐに引いてくれないという現実はある。要望を出して対応してくれるのを待つか、どうしても地域の課題として捉えるならもう一度地域課題解決事業として挙げてもらうしかない。

（５）若林まちづくりビジョンについて

- ・現状のまちづくりビジョンについて簡易な説明

- ・次回の会議までの課題提案

〈委員〉課題については提言の内容に基づいてのものなのか、それ以外のものなのかどちらか。

〈委員〉現在の地域会議に所属する地域住民の意見を聞きたいので、後者である。提言内容については、今年度以降で地域課題解決事業として対応していく。

★次回開催

第３回定例会：令和６年６月２１日（金）午後７時から 場所：若林交流館多目的ホール